

# 花 いっぱい

教育目標《子どもたちに 夢 笑顔 やる気 元気を!》



## ともに生きる! ~ラオスからテーオンさんを招いて~



10月6日(木)、ラオス共和国からゲストをお迎えしました。

今回来てくださったテーオンさん(15歳)は、本校が6年前から交流しているピアラー小学校の近くのドンチャイ中高校の1年生です。この出会いは、いつもピアラー小学校との交流や支

援金贈呈のお世話など、ラオスとの橋渡しをしてくださっているAEFA(アジア教育友好協会)の皆様のお力添えで実現しました。テーオンさんとともに、郡教育局の方や現地NGOの方3名も同行していただきました。

NGOの方々からは、ラオス国内のことや教育事情、ピアラー小学校の様子などを教えていただき、テーオンさんからは、ラオスでの生活や家庭での様子、将来の夢などを語っていただきました。「将来は、国を守るため、人の役に立つ仕事をしたい」というテーオンさんの言葉に感銘を受け、自分も「人のためになる」ことをしていきたいという気持ちを強くした子が多くいたようです。また、「8歳の時から、朝5時には起きて家族の食事の用意をしたり牛の世話や草刈りなどの仕事をしたりしている」ことや、ラオスには、ベトナム戦争の時の地雷やクラスター爆弾がまだたくさん残っていて危険な状態であるという話を聞いて、子どもたちはとても驚き、自分たちの生活との違いを強く感じたようでした。

「高野尾小学校からの支援でノートやボールなどを揃えることができ、たいへん感謝している」、「お手紙や作品でもっと交流を深めたい」、「ピアラー小学校の子は、高野尾小学校の子に『友達』だと思ってもらえることがとても嬉しい」等のお話も聞かせていただきました。ラオスにはたくさんの民族があり、言語も民族によって違うので、ラオ語(公用語)は学校へ行かないと学べないこと、ラオスには海がないので、津の海を訪れ砂浜を歩くことができ、とても感激したことなども話してくださいました。

テーオンさんたちを囲んで行った「なかよし集会(国際理解集会)」や「ともに生きる」をテーマとした授業から学んだたくさんのお話を、今後の教育に着実に生かしていきたいと考えています。



## 全国学力学習状況調査の結果について

4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果が届き、本校の傾向について分析しました。本調査は、「各学校及び児童生徒一人ひとりの学力や学習状況を客観的に把握・分析することにより、教育指導の充実や学習状況の改善に生かす」ことを目的とし、小学校6年生と中学校3年生を対象に行われるものです。また、「本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないこと」を踏まえたうえで、子どもの生活習慣や学習習慣を改善していくことをねらいとしています。

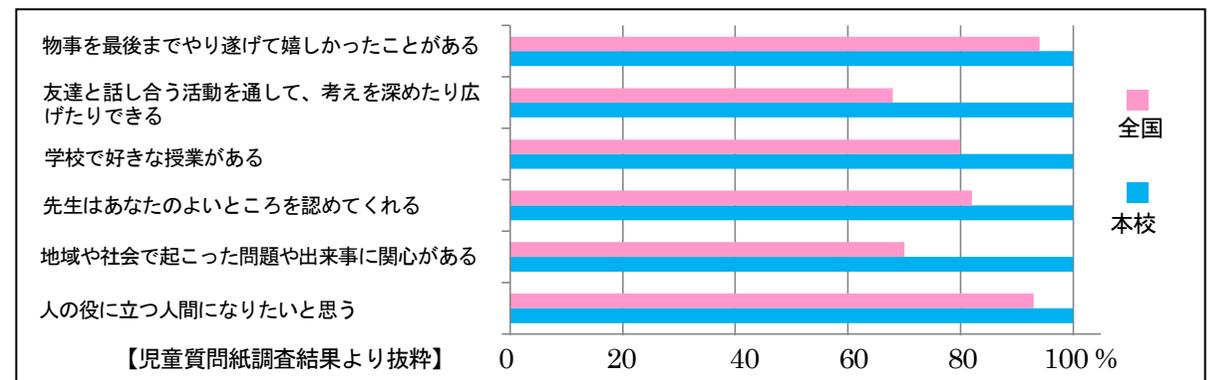
「教科に関する調査」では、A(知識)とB(活用)の2種類の問題が出題されます。昨年度は理科の学力調査もありましたが、本年度は国語・算数2教科の学力調査が行われました。また、「児童質問紙調査」として、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査も行われています。

津市全体としては、平成25年度の小学校6年生の平均正答率と比較し、本年度の中学3年生の平均正答率が大きく伸びているという結果が得られました。同じ子どもたちの3年後の状況です。小学校6年生から中学校3年生までの学習を通して課題が改善され、学力が向上したものと考えられます。また、「めあて」と「ふりかえり」を重視した授業、土曜・日曜の家庭学習の時間や内容、読書活動の充実等が学力の向上に大きく影響していることも分かっています。

本校では、「教科に関する調査」の結果としては、国語・算数共に全国平均を大きく上回る児童が半数ほどありましたが、残念ながら学習の成果が十分に発揮できなかった児童も見られました。傾向としては、B問題を苦手とし、読解力、論理的思考に課題があることが分かりました。



「児童質問紙調査」からは、国語科・算数科・総合的な学習の時間への関心が高いこと、学習習慣が確立されていること、自尊感情・規範意識が育っていること等が読み取れます。質問が85項目あるのですが、肯定的な回答の割合が全国平均より非常に高い項目が半数を超えていました。これは、児童にとって学校生活が充実していること、意欲をもって学習に取り組んでいること、学級の人間関係がたいへん良好であることを示しています。



全国平均とそれほど差があるわけではないものの、気になるのが「原稿用紙2~3枚の感想文や説明文を書くことを難しいと思う」、「自分の考えを他の人に説明したり文章に書いたりすることは難しいと思う」と回答している児童が6割~7割見られることです。

今後、「書いて考える」こと、「考えて書く」ことの指導を工夫し、「体験から感じ取ったことを表現する」、「事実を正確に理解し伝達する」、「情報を分析・評価し、論述する」、「互いの考えを伝え合い、自分の考えを発展させる」等の学習に一層力を入れていきたいと考えています。